

文部科学省研究開発学校
山梨学院小学校

参加のお申込みについて

- 次の①②③いずれかの方法でお申込みください。
 - ①申込み用紙をFAXで送信（FAX 055-224-1231）
※用紙は本校HPからもダウンロードできます
 - ②本校HPの専用フォームより
 - ③電話で直接（事務局 055-224-1200）
- 11月18日（金）までにお申し込みください。
- 研究会への参加費（資料代）は2,000円です。

会場のご案内 ～ 山梨学院小学校 ～

<電車>

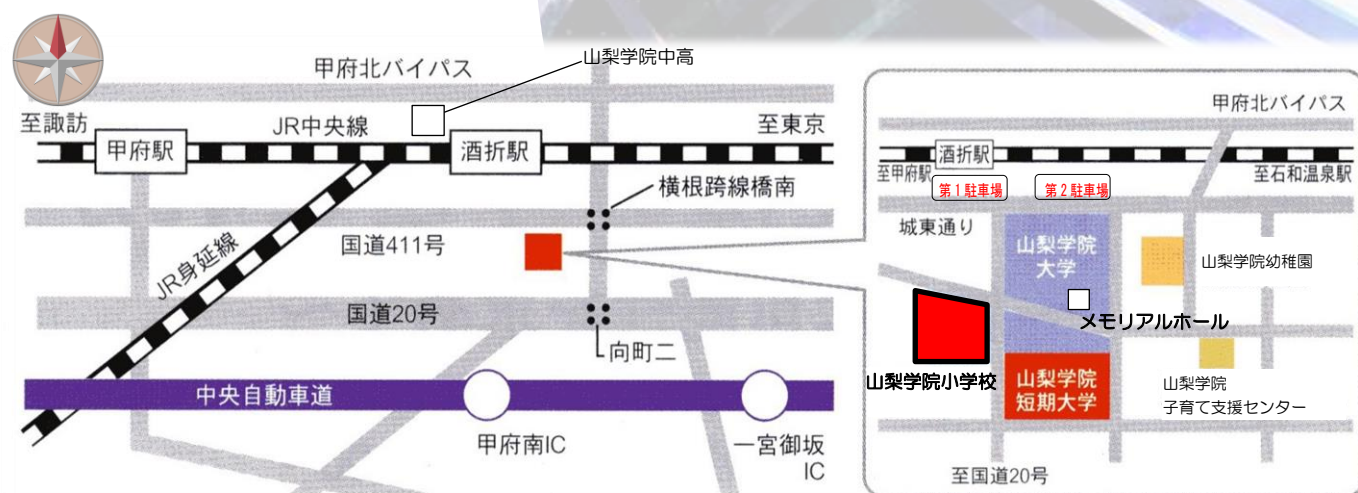
JR中央本線酒折駅下車徒歩3分
JR身延線善光寺駅下車徒歩13分

<バス>

山梨学院大学前下車

<自家用車>

第1・2駐車場をご利用ください



 **山梨学院小学校**
YAMANASHI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

〒400-0805 山梨県甲府市酒折1-11-1 TEL 055-224-1200 FAX 055-224-1231
e-mail k-yuichi@yges.ed.jp（研究主任 小林祐一） URL <http://www.yges.ed.jp/>

4年次（最終年次）研究発表会のご案内



未来の社会を生きる
子どもたちに必要な
「資質・能力」とは…

研究テーマ

新設教科「科学科」による 科学的リテラシーの育成

開催期日 2016年11月25日（金）

会場 山梨学院小学校・山梨学院メモリアルホール

後援 山梨県教育委員会

研究発表

新設教科「科学科」は、

日本の理科教育の成果や財産を継承しつつ、
未来の社会を見据えた資質・能力
(科学的リテラシー)を育成します！

目標

自然や科学・技術に関わる事物・現象に進んで関わり、

観察・実験等とその省察による課題の探究や解決を通して、

自然や科学・技術と豊かな関係を築くための科学的リテラシーを培う

と共に、個に応じた知的好奇心や能力を伸ばす。

※「科学的リテラシー」とは…

◎自然や科学・技術そのものと、それらがもたらす自然界や人間社会の変化に対して、適切かつ合理的な判断と意志決定に支えられた行動をとることができるための、総合的な資質・能力。

◎4つのカテゴリー → 自然や科学・技術に関する

①知識の習得・概念の理解 ②科学的な思考に基づく探究

③感性・心情と態度

④人間社会の状況・自然の状況に対応する能力

内容

理科教育の成果や財産を継承しつつ、新たな内容が加えられた

内容Ⅰ

科学の研究や技術の開発にたずさわる人々の営みに触れその意義を考える

内容Ⅱ

児童の自己選択・自己決定により、個に応じた力を伸ばし自律的な学習者を育てる

内容Ⅲ

科学と工学の体験的・探究的活動

「なぜ？」を問う 理学的アプローチ

「いかに？」を問う 工学的アプローチ

“日本型STEM教育”

児童の自己選択・自己決定を可能にする指導体制の開発

実社会・実生活とのつながりを意識させる教材と状況の設定

授業1 (内容Ⅰ)

5年b組
「新開発! 紙バネおもちゃ!!
～おもちゃの動きを決めているきまり～」

新規コンテンツ「紙バネ」を用いたおもちゃを開発するという状況設定の下、その速さや安定性を左右する要因を探究します。



授業2 (内容Ⅱ)

5年a組
「伝えあおう、
科学の研究や技術の開発」

科学・技術の研究や開発に関わる人々の営みやその恩恵について図書資料を用いて学び、ビブリオバトルの手法を用いて紹介しあいます。



授業3 (内容Ⅲ)

4年 テーマ選択学習

自然や科学・技術に関わる4つの学習テーマの中から子どもが自己選択し、多様な学習に自律的に取り組みます。

テーマの例

「インプット・アウトプット」講座

磁石で接続して電子回路を組み立てる教材を用いて、各モジュールの役割と接続順など、プログラミングの考え方を体験的に学びます。



テーマの例

「富士川：石の旅、砂の旅」講座

水を仲立ちとして、大地や岩が削られて細くなりながら郷土の川を流れ下り、やがて新たな土地をつくるという壮大な循環の営みの一端を学びます。



※その他に2つ、計4つの講座の学習を公開します。

対談 (13:30 ~ 14:15)

「公開授業から見た
科学科の意義と課題」

対談者

森田 和良 先生 (筑波大学附属小学校副校長)

小林 祐一 (本校研究主任)

コメンテーター

橋本 美保 先生 (東京学芸大学教授・

本校学習カリキュラムセンター客員研究員)

パネルディスカッション

(14:30 ~ 15:50)

「『科学科』の提案と
これからの科学教育」

パネリスト

日置 光久 先生

(東京大学特任教授・前文部科学省初等中等教育局視学官・

本校学習カリキュラムセンター客員研究員)

小倉 康 先生

(埼玉大学准教授・前国立教育政策研究所総括研究官)

熊野 善介 先生

(静岡大学創造科学技術大学院・大学院教育学研究科教授)

コメンテーター

田中 智志 先生

(東京大学大学院教授・本校教育顧問・

本校学習カリキュラムセンター長)

日程

9:00 ～9:40	9:45 ～10:25	10:35 ～11:20	11:25 ～12:10	12:10 ～13:20	13:30 ～14:15	14:30 ～15:50	15:50 ～16:00
受付	研究発表	授業1 (内容Ⅰ)	授業2 (内容Ⅱ)	休憩 昼食	対談	パネル ディスカッション	閉会行事
		授業3 (内容Ⅲ)		(移動)	会場：山梨学院メモリアルホール		